



令和3年度 湯浅町立湯浅小学校

学校評価アンケート集計結果

学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。

日ごとに暖かく感じるが増え、木々の梢を揺らす風にも春を感じられるようになってきました。平素より、保護者のみなさまには、本校の教育活動並びにPTA活動に対して、ご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染症防止のため、学校行事や時程の変更などを行いましたが、児童や保護者のみなさまには、多大なるご理解ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、先般ご協力いただいた学校評価アンケートについて、275家庭(全体305家庭)、約9割のみなさまよりご回答をいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。お寄せいただいたアンケートの集計を行いましたので、ご報告させていただきます。紙面の都合上、特に顕著な部分を中心に掲載させていただきます。(詳しくは、学校ホームページをご覧ください。)

I. 学校経営・教育活動に関するアンケートについて(全19項目)

「①とてもそう思う」「②まあそう思う」の合計の割合が85%を超えた項目は、

- ・『③子供は楽しく学校に通っている』94.5% (昨年度93.1%)
- ・『①学校は学校の教育方針や取組を家庭に伝えている (PTA 総会資料・面談・たより・HP等)』93.1% (昨年度94.5%)
- ・『②学校は学校での子供の様子を伝えている(面談・たより・HP等)』91.9% (昨年度91.4%)
- ・『⑭学校には困っていることなどを気軽に相談できる。』85.8% (昨年度82.9%)
- ・『⑩学校は必要な感染症対策を講じている』90.5% (昨年度92.1%)

の5項目でした。

『①学校は学校の教育方針や取り組みを家庭に伝えている』や『②学校は学校での子供の様子を伝えている』が多い点については、学級だよりや学年だより等で日々の子供たちの様子についてお伝えし、担任からも必要に応じて連絡を取らせていただいたり、面談を実施したり、例年とは形態を変更しましたが授業参観を実施したりしたことにより、このような評価になっているのではと考えると、非常に有り難く思います。『③子供は楽しく学校に通っている』に関しましては、大変うれしく感じるのですが、この結果に満足することなく、やはり、すべての子供たちが「学校に通うことが楽しい」と思える学校づくりに、今後も努めていかなければならないと考えております。

また、「①とてもそう思う」「②まあそう思う」の合計割合が、昨年度より2ポイント以上増えたのは、19項目のうち11項目ありました。

『⑭学校には困っていることなどを気軽に相談できる』85.8% (昨年度82.9%)

『⑩先生たちは子供をよく理解し、一人一人を大切にしている』84.7% (昨年度82.6%)

『⑬子供たちには思いやりの心や態度が身についている』82.9%（昨年度80.0%）

『⑮子供たちはあいさつがよくできている』74.2%（昨年度71.8%）

『⑦子供は、学校の授業が分かりやすく楽しいと言っている』73.5%（昨年度69.5%）

これらに関しましても、より丁寧な取組を推し進め、みなさま方や地域の方々とともに、子供たちのよりよい成長の場としての学校づくりに努めていく所存です。

また、『⑬子供たちには思いやりの心や態度が身についている』『⑮子供たちはあいさつがよくできている』に関しましては、みなさま方のご支援とご理解、ご協力があった結果だと思えます。感謝いたします。

一方で、「①とてもそう思う」「②まあそう思う」の合計割合が、昨年度より2ポイント以上減ったのは、19項目のうち4項目ありました。

『⑥学校は学力を向上させる取組を行っている』73.5%（昨年度76.2%）

『⑧学校は読書の取組を積極的に行っている』78.9%（昨年度82.5%）

『⑩学校は子供の間違っただ言動をきちんと指導している』74.2%（昨年度77.0%）

『⑰学校行事（授業参観など）は、保護者にとって参加しやすくなっている』84.7%（昨年度88.7%）

『⑥学校は学力を向上させる取組を行っている』については、「③あまりそう思わない」「④そう思わない」の割合合計も減っています（今年度9.5%、昨年度10.7%）。しかし、「⑤判断できない」の回答が4ポイント近く増えておりました（今年度17.1%、昨年度13.2%）。湯浅小学校では、今年度の全国学力・学習状況調査（6年生）や、和歌山県学習到達度調査（4・5年生）においては、国語科や算数科の教科の調査で全国平均や県平均を上回っておりますが、学力に関する広報不足も一因だと考えております。何よりも子供たち自身が学力の向上を実感し、みなさま方にもよく伝わるよう、今後も努めていきたいと存じます。

『⑧学校は読書の取組を積極的に行っている』に関しましては、月・火・木・金曜日朝の登校直後の読書タイムの実施、学校司書との連携による読み聞かせや図書の貸し出し、教科学習関連の図書の整備等を行うなど、読書の取組を行ってまいりました。『⑩学校は子供の間違っただ言動をきちんと指導している』に関しましては、全校で情報を共有し、必要な指導を全校で、学年で、学級で、それぞれ積み重ねてまいったところですが、2つの設問いずれにつきましても、保護者の皆様方にご安心いただくまでには至らなかったと受け止めております。

『⑰学校行事（授業参観など）は、保護者にとって参加しやすくなっている』に関しましては、今年度、新型コロナウイルス感染症の影響により、9月と2月の参観日や全体の運動会、音楽会などが相次いで中止となり、なかなか学校での子供たちの様子を見ていただく機会が少なかったためと考えます。今後も、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施について左右されることが続く可能性があります。学校での様子を見ていただく機会をとれるよう、工夫を考えてまいりたいと思います。

『②あまりそう思わない』『④全くそう思わない』の合計割合が多かったのは、以下のような設問でした。

『⑦子供は学校の授業がわかりやすく楽しいと言っている』17.8%（昨年度22.0%）

『⑮子供たちは、あいさつがよくできている』17.5%（昨年度22.0%）

『④子供には基礎的な学力が全般的に身についている』13.9%（昨年度13.7%）

『⑨通知簿は子供の力や学習状況がよくわかり適切である』13.5%（昨年度12.7%）

『⑦子供は学校の授業がわかりやすく楽しいと言っている』『④子供には基礎的な学力が全般的に身についている』に関しましては、これまで湯浅小学校が取り組んできた「学び合い」の授業に、文部科学省が目指している「令和の日本型学校教育」の「個別最適な学びと協働的な学びの実現」の視点を取り入れ、さらなる授業の充実と、子供たちの学力向上に努めていきたいと考えています。また、放課後等の補充学習の時間についても、さらなる充実を図っていききたいと思います。

『⑨通知簿は子供の力や学習状況がよくわかり適切である』に関しましては、「通知簿の項目が少し抽象的でわかりにくい。」というお声をいただいております。面談などで具体的にご説明できるよう、今後も引き続き取り組んでいきたいと思っております。

『⑩子供たちは、あいさつがよくできている』に関しましては、

○挨拶が以前よりできるようになっている。

○家に来た子が、「お邪魔します」「お邪魔しました」と言える子が増えてきた。

○授業参観等で学校訪問したときはもちろん、校外でも、知らない子供たちにあいさつしてもらって、とてもうれしいです。

というご意見がある一方、

○朝、声をかけてもあいさつできない子が多い。

○あいさつができない。できる子がいても声が小さい。

○コロナ禍ということもあるかもしれませんが、数年前と比べて、元気よくあいさつをしてくれる（返してくれる）子が減ってきているように思えて少し寂しさを感じます。

というご意見もいただいております。

あいさつにつきましては、日常の指導、PTAの声かけ運動、児童会の取組、始業式・終業式でのあいさつをする意義等の講話などにより、全体的にあいさつに対する意識は高くなってきているように思います。地域の方々からも、「あいさつしてくれてうれしかった」というお言葉をいただくこともあります。私も、毎日お子さんたちにあいさつしていますが、反応は様々です。声の大きさもいろいろですし、会釈してくれる子や手を上げてくれる子など、身振り手振りも様々です。中には友達とのおしゃべりに夢中であいさつが返ってこないときや、同じ子であっても、日によって表情が違うこともあります。

あいさつは、周りの人と良好な人間関係を築いていく基礎となるものであり、生活、人生の楽しさにつながっていきます。小学校時代に、あいさつをしてもしてもらっても、穏やかな気持ちになるという経験をたくさん味わっていただけると願っています。教職員一同、心がけてまいりますので、今後とも、温かいお声がけをよろしく願いいたします。

また、「コミュニケーション」や「自主性」、「普段の様子」という点でも、

○お友達がたくさんできて社会性が身につけてきました。

○男女仲良く安心しています。

○自主性が出てきたのか宿題など言われなくてもする様になった。友達を大切にするのは良いが悪いことも注意したりできる様になって欲しい。

○私たちの頃に比べ、チャレンジしようとする気持ちが色々な場面で見られる所です。

○前向きに学校に行こうとしたり、勉強に取り組もうとしている所が見られるようになってきました。まわりの様子も見られるようになってきていると思います。

○コロナの今の時期だからこそ、人にうつさないようにとか、お店では大きい声では話さないとか、マスクはちゃんとするとか自分以外の人の為に少し気をつかえるようになってきた気がします。みんな色々な事を我慢してよく頑張っていると思います。

という、ご意見がある一方、

○言葉づかい、態度の見直しを正しく身につけられる様にと思っています。

○言葉遣いが気になります。命令口調の言葉をよく聞きます。

○下校の際の交通ルールで、何度か「危ない！」と思う瞬間に出くわした事があります。

○交通ルールを守ること（自転車はもちろん徒歩の場合も危険だと思うことがあります。）

○登下校以外の自転車での並列や飛び出しがよく見られます。（横断歩道の渡り方も）

○放課後や休日の過ごし方、遊びに適している場所での遊びや遊び方など今でも注意する事が多いです。

○自主学习をもう少し進んでほしい。

といった課題もいただいております。

交通安全や校外でのマナーに関しましては、学校での指導のほか、警察とも連携しながら取り組んでいく所存です。交通安全教室を実施したり、歩き方や自転車の乗り方、迷惑行為等について、機会あるごとに繰り返し指導したりしてまいりたいと考えています。

また、言葉遣いについては、不適切な言葉遣いが聞こえてくる場合があります。その都度指導はしておりますが、継続的に様子を見ていく必要があるかと思えます。また、様々な機会を通じて、相手の立場に立って話をしたり、自分の気持ちをコントロールしたりするなどのコミュニケーション力が向上していくよう、みなさまとともに取り組んでまいりたいと思えます。

Ⅱ. 教育活動に対しての保護者の皆様方に関するアンケートについて

7項目の質問のうち、「①できている」「②まあできている」の割合合計が多かったのは、

『②授業参観や公開授業は出席するように心がけている。』96.7%（昨年度94.9%）

『⑧家庭においても必要な感染症対策を講じている』94.9%（昨年度96.6%）

『⑦子供とのコミュニケーションやふれあいができている』92.3%（昨年度93.2%）

でした。平素より何かとお忙しい中にもかかわらず、ご家庭におかれましても多大なるご協力を賜っていることに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。どうか今後ともよろしくお願い申し上げます。

Ⅲ ご意見をいただいた事柄について

今年度も、本当にたくさんのご意見をいただきました。個々のご意見につきましては、すべて印刷し、職員一人一人が拝見いたしました。学校として全教職員で共有し、今後の学校教育に活かしてまいりたいと思えます。また、温かい励ましのお言葉もいただき、本当にありがとうございました。どうかこれからも、本校の子供たち一人一人がしっかりと成長できるように、保護者や地域のみなさま方との連携を大切にしながら取り組んでまいりたいと存じます。何卒よろしくようお願い申し上げます。